

人口減少に歯止めを! オール長崎で取り組む



多角的な視点のもと議論を行います

人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域社会を維持していくことを目的とした長崎市版の総合戦略策定に向け、「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」を8月19日に開催。

長崎の豊かな地域資源を活かして、その潜在力を最大限に発揮していくという視点のもと、地域の実情に精通した産業界・教育機関・金融機関・市民などで構成する委員20人と、知恵を出し合いながら戦略づくりに努め、来年3月までに戦略を策定します。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)

地域の子どもは地域で育てる



市では今後も子どもの放課後の居場所づくりを進めます

全ての児童が放課後などを安全・安心に過ごすため、小学校などを利用して児童を受け入れ、地域住民とともに勉強や体験活動を行う「放課後子ども教室」。

8月28日、同教室の拡充について検討してきた「長崎市放課後子ども教室推進審議会」から市に対し、提言がなされました。提言では、教室を全小学校区に拡大するためには「既存の地域団体との連携」や「退職者への参画の働きかけ」などが必要とされました。

■問い合わせ こどもみらい課(☎825-1949)

みんなの声をまちづくりに!



平和公園周辺地区のまちづくりが対象です

平和公園周辺の道路整備や景観ガイドラインなどに住民の意見を取り入れようと、昨年に続き、8月27日にワークショップを開催。約20人の住民が地区の問題や活気づくりへの取り組みを話し合いました。

今年度はさらに3回の開催を予定。この地区のまちづくりに関心のあるかたはどなたでも歓迎します!

■問い合わせ 土木維持課(☎829-1164)

防災の原点は 住民のつながりと信頼関係



ユーモアを交えて、楽しく分かりやすい講演をしていただきました

9月1日の「防災の日」を機に市民に防災意識を高めてもらおうと、8月29日に「防災講演会」を開催。

阪神淡路大震災や九州北部豪雨災害の経験を教訓とした内容に約500人が聞き入りました。加古川市で自主防災組織の会長を務める大西賞典氏から「あいさつを通じた住民のつながりの大切さ」を、阿蘇市社会福祉協議会の山本由紀子氏からは「地域の災害経験を継承することの重要性」を紹介いただきました。

■問い合わせ 防災危機管理室(☎822-0480)